

直方市まち・ひと・しごと
総合戦略検証シート
(令和 5 年度実績報告書)

基本目標1	やりがいのあるしごとを生み出し、稼ぐまちをつくる							
施策目標	① 産業に活力を与え、魅力ある雇用機会、創業機会を創出する							

取組番号	①-1	市の農産物のブランド化							
KPI内容	市の農産物の高付加価値化に取り組む農業者数（累計）					担当課 農業振興課		担当係 農業振興係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
令和3年度3件、令和4年度4件、令和5年度5件、令和6年度6件、令和7年度7件		件	目標値	3	4	5	6	7	25
			実績値	4	6	9			19
			達成度	133%	150%	180%			76%
主な取組み		年度総括				今後の方向性			
・ 6次産業化への支援 ・ 販路拡大の取組に対する支援		・ 常設での農産物の販売支援を行った（THE OUTLET内ひまわりテラスにおける常設販売：3件）				・ 県の事業等を活用して、意欲ある農業者に向けた新たな商品開発の支援や販路拡大の取組に対する支援を継続して行う。			

取組番号	①-2	持続可能な農業の実現								
KPI内容	市の農業産出額（農林業センサス）					担当課		担当係		
						農業振興課		農業振興係		
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7(目標年度)	
令和7年度18億円 (※平成27年度17.1億円)			億円	目標値	17.28	17.46	17.64	17.82	18.00	
				実績値	15.10	15.20	15.20			
				達成度	87%	87%	86%			
主な取組み			年度総括				今後の方向性			
・ 活力ある高収益型園芸産地育成事業 ・ 水田農業担手機械導入支援事業 ・ 日本型直接支払推進交付金事業（中山間、多面、環境保全）			・ 県や国の事業を活用し、農業用機械や園芸施設の導入、条件不利地等への営農活動を支援した。				・ 継続して既存事業を活用するとともに、急速に高齢化が進み、担い手不足となっている地域を中心に農業者と営農活動を続けていくための話し合いを設ける等の取組を行う。			

取組番号	①-3	中心市街地へのIT事業者の誘致とスタートアップ支援							
KPI内容	中心市街地において立地(創業・誘致)したIT事業者の件数					担当課 商工観光課		担当係 産業イノベーション推進係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
計画期間中3件		件	目標値	3				3	
			実績値	6	0	0			6
			達成度						200%
主な取組み		年度総括				今後の方向性			
・ 中心市街地内で活動するIT事業者との現在の状況について報告を受けるほか、地域の課題解決を目指した国プロ等の申請や新しい事業を開始するための意見交換を行った。		・ 誘致した事業者が市の事業に参加したり、地元企業と協力して新しい取り組みをしたり等、全体としては事業活動が活性化しつつあるものの、誘致後思うように市内での事業ができていない事業者もいる。				・ 中心市街地等に事業所を開設する支援ができるように、既存の補助制度を拡大することとしたため、新たなデジタル関連事業者の活動拠点の誘致活動を再開する予定である。			

基本目標2 未来を担う人材を育て地域で活かすとともに、直方市への人の流れをつくる									
施策目標		② 学力の向上と共に、新しい時代をたくましく生き抜く人づくりを推進する							
取組番号	②-1	未来のIT技術者育成事業				推進交付金事業 R3~R5		4 目の高い教育を みんなに 	
KPI内容	プログラミング教室等への参加者数				担当課		担当係		
					企画経営課		企画経営係		
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
20人/年		人	目標値	20	20	20	20	20	100
			実績値	15	27	23			65
			達成度	75%	135%	115%			65%
主な取組み		年度総括				今後の方向性			
近隣2市2町の広域連携事業として、中高生向けプログラミング教室を開催している。Pythonを用いて、ブロック崩しなど簡単なオリジナルゲームの作成や、AIによる画像認識技術を活用したロボットカーの自動運転を行うプログラミングなどを学習した。		エントリーコース（初級）、アドバンスコース（中級）いずれも、参加者アンケートにおいて高い満足度を維持しており、ニーズを満たす質の高い内容を提供することができた。一方アドバンスコース（中級）は参加者が定員10名を下回った。開催日程（年末）が学校行事や季節イベントと重なったこと等が影響したと考えられる。				エントリーコース・アドバンスコースという分け方を一新し、WebコースとAIコースの2つのコースを設定する。また両コースとも夏休み期間中に開催し、参加費を完全無料化する。そのほか工場見学や、域内企業による講演なども盛り込むことで、身に付けたスキルを将来的に地域で活かす具体的なイメージの形成を後押しする。			

取組番号	②-2	「未来型授業」の実践								4 目の高い教育を みんなに 	
KPI内容	「算数・数学の単元・学習計画でのタブレット活用の位置づけ」教員評価					担当課		担当係			
						学校教育課		学校教育係			
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7(目標年度)			
3.7ポイント以上（4件法）		ポイント	目標値	4	4	4	4	4			
			実績値	3	4	3					
			達成度	81%	108%	79%					
KPI内容	小学5年生～中学3年生までの学力調査標準化得点					担当課		担当係			
							学校教育課		学校教育係		
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7(目標年度)			
国語・算数・数学で100ポイント以上（県平均値が100ポイント）		ポイント	目標値	100	100	100	100	100			
			実績値	92	93	93					
			達成度	92%	93%	93%					
KPI内容	英検IBAテスト中学3年生において、英検3級以上の生徒の割合					担当課		担当係			
							学校教育課		学校教育係		
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7(目標年度)			
50%以上		%	目標値	50	50	50	50	50			
			実績値	36.0	39.4	36.0					
			達成度	72%	79%	72%					
KPI内容	英検IBAテスト中学2年生において、英検4級以上の生徒の割合					担当課		担当係			
							学校教育課		学校教育係		
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7(目標年度)			
50%以上		%	目標値	50	50	50	50	50			
			実績値	45.0	38.7	25.0					
			達成度	90%	77%	50%					
主な取組み		年度総括				今後の方向性					
児童の学習理解度や学習意欲・学習満足度を引き上げるため、学習環境のデジタル化や情報化により、授業を改善を行った。		タブレット端末や電子黒板など、コンピューターや情報通信ネットワークを活用した学習を行っている。				児童が興味や関心を惹く音声教材や動画教材といったデジタル教科書を活用することで学習環境の充実を図り、基礎・基本を踏まえた確かな学力の定着を目指す。					

基本目標2	未来を担う人材を育て地域で活かすとともに、直方市への人の流れをつくる
施策目標	② 学力の向上と共に、新しい時代をたくましく生き抜く人づくりを推進する

取組番号	②-3	食育の推進									
KPI内容	市内の保育所、幼稚園、小学校、中学校における農業体験、調理体験活動の実施					担当課		担当係			
						農業振興課		農業振興係			
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値	
1施設あたり年1回(農業：33施設、調理：37施設)			回	目標値	70	70	70	70	70	350	
				実績値	33	40	40			113	
				達成度	47%	57%	57%			32%	
主な取組み			年度総括				今後の方向性				
・各施設における稲作体験（田植・稲刈）や野菜栽培体験の実施			・農業体験については、各施設の恒例事業として様々な取組を実施されていたが、コロナウイルス感染症のため活動の停止を余儀なくされた。現状として、いまだ拡大前の活動までには至っていない。				・今後、調理体験に代わる食育活動を検討していく必要がある				

4

国の教育課程を
みにつけて

取組番号

②-4

児童生徒の学力向上

KPI内容

学力調査（小学5年生～中学3年生までの学力調査標準化得点）

担当課

学校教育課

担当係

学校教育係

数値目標

単位

年度

令和3

令和4

令和5

令和6

令和7(目標年度)

国・算・数で100ポイント以上（県平均値が100ポイント）

ポイント

目標値

100

100

100

100

実績値

96

93

93

達成度

96%

93%

93%

KPI内容

家庭学習（平日に家庭学習を行わない児童（小6）・生徒（中3）の割合）

担当課

学校教育課

担当係

学校教育係

数値目標

単位

年度

令和3

令和4

令和5

令和6

令和7(目標年度)

全国平均以下

点

目標値

3.50

4.45

5.3

実績値

6.80

6.7

8.5

達成度

51%

67%

62%

KPI内容

各中学校区における小・中合同研修会の実施回数

担当課

学校教育課

担当係

学校教育係

数値目標

単位

年度

令和3

令和4

令和5

令和6

令和7

累積値

年3回以上

回

目標値

3

3

3

3

実績値

2

2

3

達成度

67%

67%

100%

主な取組み

年度総括

今後の方向性

授業の進め方を示した「のおがた授業モデル」を活用し主体的・対話的で深い学びを重視した授業への転換を図った。

合同研修会の実施回数は増加したもの
の、学力調査や家庭学習割合に関しては
目標を達成することはできなかった。

ICT機器やデジタル教科書などの活用によ
り主体的対話的で深い学びを可能とし、
「教育の質の向上」実現する。

基本目標2	未来を担う人材を育て地域で活かすとともに、直方市への人の流れをつくる
施策目標	② 学力の向上と共に、新しい時代をたくましく生き抜く人づくりを推進する

4読書の楽しさをみんなに

取組番号	②-5	生涯学習活動の促進							
KPI内容	中央公民館講座受講者数					担当課		担当係	
						文化・スポーツ推進課		社会教育推進係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
500人/年		人	目標値	500	500	500	500	500	2500
			実績値	277	328	343			948
			達成度	55%	66%	69%			38%
KPI内容	中央公民館利用者数					担当課		担当係	
						文化・スポーツ推進課		社会教育推進係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
80,000人/年		人	目標値	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	400,000
			実績値	19,129	41,848	41,833			102,810
			達成度	24%	52%	52%			26%
主な取組み		年度総括				今後の方向性			
初心者を対象とした、仲間づくりと自主的活動の推進を目的とする「趣味の講座」、おおむね60歳以上を対象とした、学びの場・生きがいづくりを目的とする「直方はずらつ塾」から構成する主催講座を実施した。また、昨年度に引き続き短期講座を企画し、社会教育の拠点としての中央公民館の利活用を推進した。		秋以降から開始された、中央公民館隣接施設の解体工事の影響により、主催講座は半期での開催となり、駐車場が半減したことから全体的な利用者数の減少を見込んでいたが、講座受講者数・公民館利用者数ともに前年度と同数程度の実績となった。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いて以降、徐々に社会教育活動が活性化してきていると考えられる。				生涯学習の促進のため、長年に渡り「中央公民館主催講座」を実施してきたが、受講者の7割が70歳以上かつリピーターであるという現状である。広い世代に多様な学びの機会を提供することが本事業の目的であることを考えると、若年層・中年層の新規受講者にアプローチできる企画を行う必要がある。ニーズ調査を行いながら、オンラインなどの受講形態の検討など、工夫を図る。			

基本目標2	未来を担う人材を育て地域で活かすとともに、直方市への人の流れをつくる		
施策目標	③ 高技能人材の移住・定住を推進するとともに、関係人口を創出する		

取組番号	③-1	U・I・Jターンや若者の市内定着促進							
KPI内容	移住支援補助金を活用し、本市へ移住・定住した人の数					担当課		担当係	
						企画経営課		企画経営係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
5人(計画期間中)		人	目標値	5					5
			実績値	0	1	-	-	-	1
			達成度						20%
KPI内容	就職時に奨学金返還支援制度を活用し、移住・定住した人の数					担当課		担当係	
						企画経営課		企画経営係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
10人/年（R4年度以降）		人	目標値		10	10	10	10	40
			実績値		0	13			13
			達成度		0%	130%			33%
主な取組み		年度総括				今後の方向性			
令和4年度まで実施した移住支援補助金に代わる移住・定住対策として、奨学金の貸与を受けて高校・大学等を卒業した若年層を対象に、奨学金返還支援制度を開始した。5年以上の本市への居住意思および就業意思（就業場所は市外も可）がある卒業後5年以内の方を対象とし、年間最大15万円、最長3年間補助する。		7月～9月、10月～12月の2回にわたって募集した結果、定員20名程度に対し13名の申込者があった。この13名中12名は在学中から本市に居住しており、事業開始初年度としては、若年層の転出防止に一定の効果があった。				若年層の転出抑制という本補助金の目的により則し、他の年齢層に比べ転出者数が多い30歳以下の層に対象を限定するため、申請要件の「卒業後5年以内」という要件を削除し、年齢を30歳以下に制限する。			

取組番号	③-2	近隣都市との連携の強化							
KPI内容	ちょっくらふれ旅の参加者数					担当課		担当係	
						企画経営課		企画経営係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7(目標)	累積値
1,000人（令和7年度までに達成）		人	目標値	1,000					1000
			実績値	405	263	-	-	-	668
			達成度						67%
主な取組み		年度総括					今後の方向性		
令和5年度より自主運営に移行により事業廃止		令和5年度より自主運営に移行により事業廃止					令和5年度より自主運営に移行により事業廃止		
KPI内容	筑豊フェアの来場者数					担当課		担当係	
						商工観光課		商業観光係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
令和3年度12,000人、令和4年度12,500人、令和5年度13,000人、令和6年度13,500人、令和7年度14,000人		人	目標値	12,000	12,500	13,000	13,500	14,000	65,000
			実績値	0	11,000	-	-	-	11,000
			達成度	0%	88%				17%
主な取組み		年度総括					今後の方向性		
筑豊地域が連携し、「食」や伝統的な「おどり」等地域の魅力を都市圏住民に向けて総合的に発信し、当該地域の広域的振興を図る。		『筑豊フェア』主催者である福岡県の施策転換により、R5年度以降は開催なし					『筑豊フェア』主催者である福岡県の施策転換により、R5年度以降は開催しないこととなっている。		

基本目標2	未来を担う人材を育て地域で活かすとともに、直方市への人の流れをつくる
施策目標	③ 高技能人材の移住・定住を推進するとともに、関係人口を創出する

8

職員・市民も
定住促進も

17

ひと・まち・しごとで
目標を達成しよう

取組番号	③-3	交流人口・関係人口の創出・拡大							
KPI内容	SNSのフォロワー総数					担当課		担当係	
						秘書広報課		秘書広報係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
令和3年度11,000人、令和4年度12,000人、 令和5年度13,000人、令和6年度14,000人、 令和7年度15,000人		人	目標値	11,000	12,000	13,000	14,000	15,000	65,000
			実績値	14,721	17,643	20,062			52,426
			達成度	134%	147%	154%			81%
KPI内容	ホームページの閲覧件数					担当課		担当係	
						秘書広報課		秘書広報係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
350万PV/年		万PV	目標値	350	350	350	350	350	1,750
			実績値	656	550	306			1,512
			達成度	187%	157%	87%			86%
主な取組み		年度総括				今後の方向性			
・見る人がわかりやすく、情報の取得が手軽にできるような発信の工夫 ・市民生活に必要な情報提供の即効性向上 ・SNSを活用した情報提供の向上		・積極的に情報収集に取り組み、タイミングを逃さず発信することができた。 ・情報発信が少なかった部署に声掛けし、発信していく事が出来た。				・職員研修を行い、情報発信の必要性を職員に意識づける。 ・部署間で連携し情報収集に取り組み、市の魅力や市民生活に必要な情報をタイムリーに発信していく。			

基本目標3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
施策目標	④ 幼児教育や家庭教育への支援を強化する

取組番号	④-1	幼児教育・家庭教育支援事業							3 すべての人に健康と福祉を	
KPI内容	未就園児・不就学児等の人数 (年長児童)					担当課		担当係		
						こども育成課		幼児教育推進係		
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7(目標年度)	
令和3年度5人、令和4年度3人、令和5年度1人、令和6年度0人			人	目標値	5	3	1	0	0	
				実績値	2	2	2			
				達成度	250%	150%	50%			
KPI内容	家庭教育推進のための講習会の回数					担当課		担当係		
						こども育成課		幼児教育推進係		
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
4件/年			件	目標値	4	4	4	4	4	20
				実績値	3	4	12			19
				達成度	75%	100%	300%			95%
主な取組み			年度総括				今後の方向性			
・ 未就園児家庭の訪問（社協委託事業） ・ 親育ち講座を毎月開催（12回） ・ 子育てサロン（筑豊高校共同事業） 7回開催			子育て中の保護者が気軽に参加できる機会を増やすため、講座の内容、回数を工夫し実施した。				今後も子育てに関する様々な講座を実施し、子育て家庭の育児力の底上げを図る。			

基本目標3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
施策目標	⑤ 仕事と子育ての両立を支援する		

5

ジェンダー平等を推進しよう



取組番号	⑤-1	若い世代の結婚支援事業							
KPI内容	計画期間中の婚姻数					担当課		担当係	
						企画経営課		企画経営係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
300件/年		件	目標値	300	300	300	300	300	1,500
			実績値	234	234	176			644
			達成度	78%	78%	59%			43%
KPI内容	市内における出会い応援団体の登録件数					担当課		担当係	
						企画経営課		企画経営係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
1件/年		件	目標値	1	1	1	1	1	5
			実績値	3	20	99			122
			達成度	300%	2000%	9900%			2440%
主な取組み		年度総括				今後の方向性			
・結婚新生活支援補助金の支給（予算300万円）。 ・国の少子化対策重点交付金事業（2/3補助）を活用して実施。夫婦ともに39歳以下の場合30万円、29歳以下の場合60万円を上限として、住宅取得・住宅賃借・引越し費用を補助。		・補助金については、8件の申請があり2月もって受付を終了した。出会い応援団体については、想定をはるかに上回る数の企業団体が登録いただいており、少子化への取り組みに対し企業側の意識も変わってきていると感じている。				・結婚新生活支援補助金については令和6年度より平等性を担保することを目的に継続補助を導入し20歳から39歳までの金額を一律30万円に統一をおこなったい少しでも均等に行きわたるよう調整するとともに婚姻数の増加を目指す。 ・県や他自治体、市内の出会い応援団体等と連携し、広域的出会い応援イベント等協力を行っていきたい。			

取組番号	⑤-2	保育所等の待機児童対策					5ジェンダー平等を 実現しよう 8働きがいも 経済成長も		
KPI内容	待機児童数（4月現在）					担当課		担当係	
						こども育成課		こども育成係	
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7(目標年度)
令和3年度20人、令和4年度15人、令和5年度10人、令和6年度5人、令和7年度0人			人	目標値	20	15	10	5	0
				実績値	12	0	0		
				達成度	167%	100%	100%		
主な取組み			年度総括				今後の方向性		
・保育士確保のための合同就職説明会の実施 ・保育士を確保するための保育士奨学金返済支援補助金			・合同就職説明会をイオンモール直方で実施した。今年はオンラインでの参加も可能とし、より参加しやすい環境とした。 ・奨学金補助の申請者は令和5年度で10名。				合同就職説明会や奨学金返済支援を継続するとともに、今後も保育体制強化事業補助金を活用して、保育支援者（保育士資格を有していない者）の配置を促進し、保育士の業務負担を軽減し保育士の離職防止を図る。		

基本目標4	賑わいのある、安心して暮らすことができる豊かなまちをつくる		
施策目標	⑥ まちの中心に賑わいをつくる		

取組番号	⑥-1	中心市街地賑わいづくり推進事業（リノベーション事業）				推進交付金事業（R2～R4） 拠点整備交付金（R4）		9 都市に伝わる文化の 未来につなぐ 				
KPI内容	リノベーション事業により活用が図られた中心市街地の遊休資産の件数					担当課		担当係				
数値目標					単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
令和4年度までに4件					件	目標値	4					4
						実績値	0	1				1
						達成度	0%	25%				25%
KPI内容	リノベーション事業により中心市街地において創業した人数					担当課		担当係				
数値目標					単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
令和4年度までに2人					人	目標値	2					2
						実績値	0	1				1
						達成度						50%
主な取組み					年度総括			今後の方向性				
多世代交流スペースここっちゃんの施設管理、 （株）まちづくり直方を通じたここっちゃんの飲食・物販スペースの運営や、賑わいづくりのためのイベント実施等の取り組みを行った。 あわせて、中心市街地エリアマネジメント事業として商店街エリアの現状把握・空き店舗や不動産情報調査を実施し、持続した商店街の賑わいづくりのための体制構築を図った。					ここっちゃん稼働初年度であったが、支援センターエリアと交流エリアの運営元が違うため、一体的な運営が難しく、利用者に不便を強いる部分があった。 中心市街地エリアマネジメント事業においては、不動産情報調査の結果、中心市街地エリアの即入居可能物件は11件あり、これらの活用を含め、中心市街地の持続した賑わいづくりを推進するためまちづくりに関与する人材の相関関係の整理や、商店街エリアの将来ビジョンの策定を行うことにより、今後の中心市街地の在り方を明確にすることができた。			子育て支援センターの土日開放や、交流エリアの活用、不安定な運営体制等課題が多く、ここっちゃん運営の在り方を再検討する必要がある。賑わいづくりを阻害しない効率的な運営体制を構築し、エリアマネジメント事業と一体でまちなか再生事業に取り組む。				

取組番号	⑥-2	直方北九州自転車道の活用（レンタサイクル、広域イベントの開催等）				推進交付金事業 R4～R6				
KPI内容	レンタサイクル（シェアサイクル）事業の導入件数					担当課		担当係		
						商工観光課		商業観光係		
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
令和5年度までに2件			件	目標値	2					2
				実績値	0	0	0			0
				達成度						0%
KPI内容	自転車走行イベントの開催回数					担当課		担当係		
						商工観光課		商業観光係		
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
1回/年			回	目標値	1	1	1	1	1	5
				実績値	1	1	0			2
				達成度	100%	100%	0%			40%
主な取組み			年度総括				今後の方向性			
成金饅頭をはじめ市内で購入可能なスイーツを楽しむながら親子や初心者がゆっくりとサイクリングできる自転車道活用施策、キッズレースや自転車安全教室、ステージイベント等の企画により集客を図り、自転車道・サイクリングの普及に努めた。			事前予約が必要なイベント（スイーツサイクリング・キッズレース・交通安全教室）の申し込みはトータルで194件（令和4年度：163件）あったものの、イベントは雨天のため中止となった。				市主催のサイクリングイベントの他、サイクルカーゴ（自転車ごと乗れるバス）や平筑の黒銀を活用したサイクルツーリズム等を活用し、自転車道の認知度向上及び活用促進を図る。			

基本目標4	賑わいのある、安心して暮らすことができる豊かなまちをつくる
施策目標	⑥ まちの中心に賑わいをつくる

取組番号	⑥-3	「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりの推進							
KPI内容	居住誘導区域の人口密度					担当課		担当係	
						都市計画課		都市計画係	
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7(目標年度)
令和3年度：45.1%、令和4年度：44.8%、令和5年度：44.6%、令和6年度：44.3%、令和7年度：44.0%			%	目標値	45.1	44.8	44.6	44.3	44.0
				実績値	44.7	44.5	44.2		
				達成度	99%	99%	99%		
主な取組み			年度総括				今後の方向性		
歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを進めるために「立地適正化計画」を平成31年に策定した。策定から5年が経過したため計画を改定し、都市機能誘導及び居住誘導を促す施策の見直しを行った。			市全体の人口が減少するなか居住誘導区域内の人口密度はほぼ目標値を達成している。しかし直方駅東側では低未利用土地が多く発生しており生活利便性や活力の低下が懸念される。				都市機能誘導及び居住誘導を促す施策の進捗管理を行う。		

取組番号	⑥-4	空き家の適正管理と利活用の促進							
KPI内容	空き家バンク等を活用した空き家物件の流通件数					担当課		担当係	
						都市計画課		都市計画係	
	数値目標	単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
	3件/年	件	目標値	3	3	3	3	3	15
			実績値	6	8	3			17
			達成度	200%	267%	100%			113%
	主な取組み	年度総括				今後の方向性			
	適切な管理が行われていない空家等の増加により、市民の生活環境に問題を起こすことが懸念される。空家等の適正管理と利活用の促進を計画的に実施する。	老朽危険家屋の解体補助金、利活用を目的とした住宅取得補助金や空き家リフォーム補助金を令和5年度から実施し順調に活用されている。				空き家バンクの活用、危険空家の解体費の補助や中古住宅の流通促進を目的とした補助金等の支援制度などを広く周知することにより、住宅保有者に空き家問題の啓発を図り、管理されていない空き家等の増加を抑制する。			

基本目標4	賑わいのある、安心して暮らすことができる豊かなまちをつくる
施策目標	⑥ まちの中心に賑わいをつくる

取組番号	⑥-5	文化・芸術を活用した地域活性化					4 文化の振興と観光を めざすに 11 自然環境の保全と まちづくり			
KPI内容	文化5施設（ユメニティのおがた、直方市図書館、直方市美術館(本館・別館)、直方市歳時館、直方市石炭記念館）の利用者数					担当課		担当係		
						文化・スポーツ推進課		社会教育推進係		
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値	
150,000人/年		人	目標値	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	750,000	
			実績値	140,849	187,973	171,911			500,733	
			達成度	94%	125%	115%			67%	
主な取組み		年度総括				今後の方向性				
ユメニティのおがたでは、アートdeこども元気プロジェクトとして、演劇鑑賞やクラシックコンサートの鑑賞などアウトリーチ事業に力を入れ、本物の芸術にふれる機会の提供を継続的に行った。 図書館では、ユメまつりとして工作体験や読み聞かせなどを実施し、多くの子どもが参加した。読み聞かせボランティアによる読み聞かせについても毎月実施した。 美術館では、ナイトミュージアムや子どもスタッフによる企画展などの展示事業に加えて、小中学校への出張授業などを行い、芸術を子どもたちに伝える活動も行っている。 歳時館では、前年度に引き続き職のイベントとして「cafe三太郎」や「筑豊スイーツ」を実施した。「筑豊スイーツ」では、100名の予約が即日で完了するなど、好調であった。 石炭記念館では、JCOAL（石炭フロンティア機構）の主導の下将来の石炭利用や新しいエネルギーについて考えることをテーマとしたクリーン・コール・デーを実施したほか、NHK WORLD -JAPANから配信されているJourneys in Japanの撮影なども行った。		文化施設間の連携した事業に加え、他機関と共同で実施する事業にも力を入れ、数カ年継続して行っている事業についても新聞やテレビなどの媒体を通しての広報が効果的に作用し、事業を展開している。				既存の事業の見直しはもちろんのこと、新たな事業についても、様々な機関との連携した事業についても開拓していく。また、文化施設の新たな在り方として、市民の居場所となりうる環境づくりを進めていく。				
KPI内容	陶芸技術者の誘致・創業者数					担当課		担当係		
						商工観光課		商業観光係		
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値	
計画期間中1人		人	目標値	1					1	
			実績値	1	0	0			1	
			達成度						100%	
主な取組み		年度総括				今後の方向性				
高取焼の、福岡県知事指定特産工芸品の認定に対するフォローアップを行った。		R6.3.26付で福岡県知事指定特産工芸品に認定された。				SNS等での積極的な広報や、高取焼組合が開催する陶器まつりを福地山ろく花公園で実施するなど、認知度を高める取り組みを推進し、窯経営の安定化及び新規創業者の誘致につなげたい。				

基本目標4	賑わいのある、安心して暮らすことができる豊かなまちをつくる
施策目標	⑦ ハード・ソフト両面での安全・安心なまちづくりを推進する

取組番号	⑦-1	防災力の充実・強化						
KPI内容	自主防災組織の組織率					担当課		担当係
						防災・地域安全課		防災・地域安全係
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7(目標年度)
令和7年度100% (令和元年度50.77%)		%	目標値	100				
			実績値	51.34	50.63	58.09		
			達成度	51%	51%	58%		
主な取組み		年度総括				今後の方向性		
・ 自主防災組織未結成地域への出前講座 ・ 自公連防災分科会での自主防災組織作成への働きかけ		今年度は新入校区で自主防災組織が作成されたため、全11校区中6校区で作成された。未組織校区の5校区に対し、自主防災組織の重要性について説明を続けていく。				自主防災組織の中核となることが期待される自公連防災分科会において、自主防災組織と防犯訓練の必要性について周知を図っている。		

横断目標1	多様な人材が活躍できる環境づくりを推進する
施策目標	⑧ 多様な主体が活躍する地域社会をつくる

取組番号	⑧-1	働く外国人の活躍支援								10人や団体の活動を 支える
KPI内容	日本語教室の参加者数					担当課		担当係		
						文化スポーツ推進課		男女共同推進係		
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値	
令和3年度30人、令和4年度30人、令和5年度60人、令和6年度60人、令和7年度60人		人	目標値	30	30	60	60	60	240	
			実績値	0	24	36			60	
			達成度	0%	80%	60%			25%	
KPI内容	国際交流事業の実施件数					担当課		担当係		
						商工観光課		工業振興係		
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値	
2件/年		件	目標値	2	2	2	2	2	10	
			実績値	0	1	1			2	
			達成度	0%	50%	50%			20%	
主な取組み		年度総括				今後の方向性				
関係者で構成する「直方市技能実習生等外国人支援協議会」を令和4年度より設立し、活動開始。会員企業において雇用されている外国人向けに交流イベント（お茶体験等）の実施や、会員企業を訪問し、企業担当者への研修や働く外国人へのヒアリングを実施した。 また日本語教室については、令和5年度は多文化共生の観点を踏まえ、技能実習生に留まらず、学習意欲のある市内在留外国人を対象者とするよう事業の拡大を図った。		「直方市技能実習生等外国人支援協議会」の活動を開始し2年目を迎え、左記イベント・企業訪問、総会等を無事開催できたが、倒産等の様々な理由から、退会した会員企業が合計3社となった。 また日本語教室については、市民ボランティアの活躍で概ね安定的な運営ができた。一方で、参加する学習者が特定の外国人に限られるなど、新規学習者へのアプローチが課題となっている。				「直方市技能実習生等外国人支援協議会」については、役員の任期が2年であり、協議会の継続のために、魅力ある活動の実施を模索していく必要がある。また、左記の年度統括にあるとおり、合計3社協議会を退会する企業がいたが、新規で入会する企業は0社であった。今後も活動が継続できるよう、必要な支援等を行っていくと同時に、会員企業の拡充に努める。 また「日本語教室直方」について、今後も安定運営が継続できるよう、日本語教師や会場の確保等必要な支援を行っていく。				

取組番号	⑧-2	地域コミュニティの再生	3 1人1人に 健康と福祉を 10 人や団体の活動を 支える						
KPI内容	自治会加入率の向上（令和元年52.71%）					担当課		担当係	
						防災・地域安全課		防災・地域安全係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	
自治会加入率の向上 令和7年度に全国平均値		%	目標値	62.7	65.0	65.0			
			実績値	48.6	48.3	46.4			
			達成度	77%	74%	71%			
主な取組み		年度総括				今後の方向性			
○自公連との協働による加入促進 ・市外からの転入者へチラシの配布 ・広報「まちづくり」の作成協力 ○校区自治会（地域コミュニティ組織）の会議に参加し、各校区自治会の運営実態を把握。		○自公連との協働による加入促進を実施したが加入率減少に歯止めがかからない状況である。再度、自公連の加入促進分科会と加入促進・脱退防止等について取り組んで行く必要がある。 ○校区での会議を定期的・計画的に実施している校区は11校区中7校区であったことから、実施していない4校区の運営実態を把握することができなかった。				○自公連との協働による加入促進・脱退防止等継続して行う。 ○地域づくりの新しい形「協議体」についても自主防災組織等と絡めながら11校区の中で取り組めるところから挑戦していく。			

横断目標1	多様な人材が活躍できる環境づくりを推進する							
施策目標	⑧ 多様な主体が活躍する地域社会をつくる							

取組番号	⑧-3	運動習慣の定着支援								
KPI内容	教室等参加者数					担当課		担当係		
						健康長寿課		健康推進係		
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
令和3年度100人、令和4年度200人、令和5年度300人、令和6年度400人、令和7年度500人			人	目標値	100	200	300	400	500	1,500
				実績値	39	220	360			619
				達成度	39%	110%	120%			41%
KPI内容	アプリ登録者数					担当課		担当係		
						健康長寿課		健康推進係		
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
令和3年度300人、令和4年度450人、令和5年度600人、令和6年度750人、令和7年度900人			人	目標値	300	450	600	750	900	3,000
				実績値	276	503	637			1,416
				達成度	92%	112%	106%			47%
主な取組み			年度総括				今後の方向性			
・ウォーキング教室 ・スロージョギング教室 ・ケアトランポリン教室 ・市街地ウォーキングイベント ・健康ポイント事業			ナッジ理論を活用した広報や、商業施設を会場にするなど、参加しやすい環境を整えたことにより、参加者の増加につながった。				特に働く世代の参加者が増加するよう、新たなコンテンツを設ける。また、併せて健康経営の推進を行う。			

取組番号	⑧-4	障がい者の就労支援							
KPI内容	一般就労につながった利用者数					担当課		担当係	
						子育て・障がい支援課		障がいサービス係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
令和7年度15件/年		件	目標値	3	3	3	3	3	15
			実績値	8	1	10			19
			達成度	267%	33%	333%			127%
KPI内容	優先調達事業所数					担当課		担当係	
						子育て・障がい支援課		障がいサービス係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
計画期間中3件		件	目標値	3					3
			実績値	1	5	1			7
			達成度						233%
主な取組み		年度総括				今後の方向性			
・障がい者の就労支援に関しては直鞍地区障害者等自立支援協議会の就労支援部会と協力をしながら進めている。令和5年度は事業所見学会や事例検討、「おいでな祭」などのイベントを開催した。 ・優先調達については、年度初めに「直方市障がい者就労施設等からの物品等調達方針」を打ち出し利用の促進を図っている。		・市内4カ所の就労移行支援事業所のうち、3事業所から一般就労に繋がり利用者数は目標値の約3倍となった。 ・「直方市障がい者就労施設等からの物品等調達方針」の「9その他(2)法の趣旨を理解し、職員個人や親睦会等においても、率先し障がい者就労施設等からの物品の購入に努める。」に即して、職員が就労継続支援A型事業所のお弁当注文し、利用していた(件数は把握できていない)				・一般就労に繋がっても、離職も多いのが現状。就労定着支援も活用し、長期就労に繋げたい。また、特別支援学校から一般就労に繋がるよう就労支援部会やハローワーク、学校との連携を取っていききたい。 ・優先調達については、周知がまだ足りていないので定期的に周知を図っていく。また市内の事業所については、市役所が発注できる内容の職種や量をこなせる事業所がない現状にあるのを、今後事業所とも連携し取り組んでいきたい。			

横断目標1	多様な人材が活躍できる環境づくりを推進する							
施策目標	⑧ 多様な主体が活躍する地域社会をつくる							

取組番号	⑧-5	高齢者の社会参加活性化への支援								
KPI内容	老人クラブ年間平均活動数（1クラブあたり）					担当課		担当係		
						健康長寿課		高齢者支援係		
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
令和3年度56回、令和4年度58回、令和5年度60回、令和6年度62回、令和7年度64回			回	目標値	56	58	60	62	64	300
				実績値	57	78	47			182
				達成度	102%	134%	78%			61%
KPI内容	シルバー人材センター就業延人員（年間）					担当課		担当係		
						健康長寿課		高齢者支援係		
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
令和3年度6,100人、令和4年度6,180人、令和5年度6,260人令和6年度6,340人、令和7年度6,420人			人	目標値	6,100	6,180	6,260	6,340	6,420	31,300
				実績値	24,530	22,657	22,594			69,781
				達成度	402%	367%	361%			223%
主な取組み			年度総括				今後の方向性			
・のおがた元気ポイント事業（参加登録者3080人、登録団体287団体） ・いきいき百歳体操（22団体） ・いきいき百歳体操サポーター養成講座 ・かみかみ百歳体操サポーター養成講座			のおがた元気ポイント事業については、効果について普及啓発の強化を行ったため、参加人数や団体数が増加することができた。				高齢者の社会参画の為には、介護予防が重要となる。また、介護予防に関する事業には、高齢者の社会参画につながるものも多いため、介護予防事業を継続しながら高齢者の社会参画を支援する。			

取組番号	⑧-6	女性が輝くしごと創生事業				推進交付金事業 R2~R4		5 5人から10人以上 を創出しよう	8 8人から10人以上 を創出しよう	10 10人以上の事業等 を創出しよう
KPI内容	女性の創業件数					担当課		担当係		
						商工観光課		産業イノベーション推進係		
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
令和3年度7件、令和4年度10件、令和5年度10件、令和6年度10件、令和7年度10件			件	目標値	7	10	10	10	10	47
				実績値	12	16	22			50
				達成度	171%	160%	220%			106%
主な取組み			年度総括				今後の方向性			
古町商店街に設置した直鞍ビジネス支援センターの新たな経営相談窓口での経営相談が利用が増えており、同施設内で創業支援ネットワークの金融機関やアドバイザーによる経営支援のためのセミナーやマルシェを開催した。また商工会議所と連携して創業スクールを開催した。			直鞍ビジネス支援センターの体制が令和4年度に見直したが、令和5年度も順調に利用者が増えている。また、開催するセミナーにも多くの女性の方々に参加いただくことで、創業やその後の経営をサポートする取り組みができては始めている。				直方市、直方商工会議所、直鞍情報・産業振興協会、金融機関との連携を強化すること、また創業後も継続的に支援ができるような枠組みを構築するための協議を創業支援ネットワークを中心に進めており、シームレスな事業者支援の体制を再構築する予定である。			

横断目標2	新しい時代の流れを力にする（※具体的な取り組みにSDGs指標を割り当て）							
施策目標	⑨ 先端技術（AIやIoT等）の地域への取込みを支援・推進する							

取組番号	⑨-1	市内事業者のデジタルトランスフォーメーションの推進								
KPI内容	直方市IoT推進ラボが先進技術導入についてサポートした件数					担当課		担当係		
						商工観光課		産業イノベーション推進係		
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7年	累積値
計画期間中5件			件	目標値	5					5
				実績値	5	11	0			16
				達成度						320%
KPI内容	直方市IoT推進ラボにおいて大学等と研究開発を行った件数					担当課		担当係		
						商工観光課		産業イノベーション推進係		
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
計画期間中3件			件	目標値	3					3
				実績値	1	4	0			5
				達成度						167%
主な取組み			年度総括				今後の方向性			
令和2年度から令和4年度まで実施した先進的IT技術実証事業補助金の活用事例を市内外の企業に向けて発信するため、北九州市のエコテクノ、千葉市のCEATECに参加し、展示を行った。また、国等の各種支援制度等を広く企業等に告知するためのプラットフォームの構築を行い、運用に向けた準備を行っている。			令和5年度はこれまでの市や企業等の取り組みを市内外に広報することに重点を置いており、各種展示会の参加や県外での講演などで、直方市の取り組みを広く伝えることができた。今後は、このような課題解決事例等を増やすため、市内にあらためて周知並びに啓発を行っていきたい。				令和5年度に実施した各種展示会への参加は引き続き行くとともに、大学研究機関、企業等と連携した技術研究会等を企画していく予定である。その研究会の参加者からあらたな挑戦が生まれるような好循環を生み出し、市内でのDXを推進していきたい。			

取組番号	⑨-2	中心市街地における先進的IT技術情報発信拠点の整備							 
KPI内容	拠点施設の延べ利用者数					担当課		担当係	
						商工観光課		産業イノベーション推進係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
令和3年度500人、令和4年度1,000人、令和5年度1,500人、令和6年度1,500人、令和7年度1,500人		人	目標値	500	1,000	1,500	1,500	1,500	6,000
			実績値	0	344	1,372			1,716
			達成度	0%	34%	91%			29%
主な取組み		年度総括				今後の方向性			
昨年度開設した「のおがたベース」において、事業者の経営支援のためのイベントとして、小規模事業者向けに行ったキャッシュレス決済の導入セミナーやSNSの活用セミナー等を行った。また高校生による高齢者向けスマホ教室の開催場所として提供する等、多くの方々の交流の場となっている。		大学や企業等と実施する共同研究のサテライト拠点として活用を始めてきたが、令和5年度は様々な事業者や市民に向けたデジタル技術の活用について紹介するイベントを開催できた。拠点の活用方法として、多くの選択肢ができてきたが、さらに多くの方が足を運んでくれる場所となるように展開していく必要がある。				のおがたベースは商店街の中にあり、様々な人が交流しやすい空間となっている。当拠点施設をデジタル技術等を活用した地域課題の解決に向けた場、イノベーションの発信拠点とするため、ものづくりに携わる経営者等を多く巻き込んだイベントを開催するなど、ソフト面の整備を図っていきたい。			

横断目標2	新しい時代の流れを力にする（※具体的な取り組みにSDGs指標を割り当て）							
施策目標	⑩ 大学や企業等とのパートナーシップによる取り組みを推進する							

取組番号	⑩-1	産業技術における大学研究機関等との共同研究の実施								
KPI内容	大学研究機関が参画した共同研究の件数					担当課		担当係		
						商工観光課		産業イノベーション推進係		
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値	
計画期間中3件		件	目標値	3					3	
			実績値	1	1	0			2	
			達成度						67%	
主な取組み		年度総括					今後の方向性			
福岡大学、九州工業大学が申請した総務省SCOPE事業に参画し、「LPWAを活用した河川水位・水量計測ならびに樋門管理制御システムの構築実証」の共同研究を昨年度に引き続き実施し、最終的な成果報告を行った。		総務省SCOPE研究事業が終了し、令和6年度から実装することになった。国土交通省が発刊する国土交通白書に掲載されるなど、この取り組みを発信する機会が増え、県内外の多くの関係者に成果を報告することでできている。					次の研究テーマについて、大学研究機関と引き続き意見交換をしており、ヘルスケア分野や農業分野、半導体に関する分野等でテーマ設定を検討している。今後も産学官連携による枠組みで国プロ等に申請を行っていく予定である。			

取組番号	⑩-2	公民学連携による健康づくりの推進							
KPI内容	健康づくりに関する連携協定を結んでいる大学・民間企業との連携数					担当課		担当係	
						健康長寿課		健康推進係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
計画期間中 5 件		件	目標値	5					5
			実績値	3	2	0			5
			達成度						100%
主な取組み		年度総括				今後の方向性			
・ 骨粗鬆症予防事業 ・ データ分析事業 ・ 熱中症予防事業 ・ 健康経営推進事業		骨粗鬆症予防事業に置いては民間企業だけでなく、地域の医師会とも連携して取り組んだことにより、検診率の大幅な向上など、着実に成果がみられた。				地域のニーズを的確に把握し、産学官がもつ専門知識やリソースを組み合わせながら、継続的な取り組みを行う。			

横断目標2 新しい時代の流れを力にする（※具体的な取り組みにSDGs指標を割り当て）										
取組番号 (R4より)		⑩-3	カーボンニュートラルの推進					7 持続可能なエネルギー 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動に具体的な対策を		
KPI内容		環境サミットの実施回数					担当課		担当係	
							環境政策課		環境政策係	
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7(目標年度)	
1回/年			件	目標値		1	1	1	1	
				実績値		1	1			
				達成度		100%	100%			
KPI内容		公共施設における再生可能エネルギー設置件数					担当課		担当係	
							環境政策課		環境政策係	
数値目標			単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
計画期間中5件			件	目標値		5				5
				実績値		0	1			1
				達成度						20%
主な取組み			年度総括					今後の方向性		
令和6年1月13日（土）にイオンモール直方にて市内4校が取組を発表する環境サミットを開催。 再生可能エネルギー設置については、令和5年度に1施設設置。			環境サミットについては予定通り開催。 再生可能エネルギーについては汚泥処理再生センターに設置済。					環境サミットは例年の4校に加え、鞍手龍徳高校にも参加の打診予定。 再生可能エネルギーについては、R6年度に1施設、今後他に8施設に設置予定。		

取組番号 (R4より)	⑩-4	地方創生SDG s の推進						17 パートナリープ 目標を達成しよう	
KPI内容	連携した取組を行った件数					担当課		担当係	
						企画経営課		企画経営係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
計画期間中5件		件	目標値		5				5
			実績値		2	2		4	
			達成度					80%	
KPI内容	SDG s 推進パートナー登録団体数					担当課		担当係	
						企画経営課		企画経営係	
数値目標		単位	年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	累積値
計画期間中100団体		団体	目標値		100				100
			実績値		33	24		57	
			達成度					57%	
主な取組み		年度総括				今後の方向性			
のおがたSDGsフェスタの開催 パートナーマッチングプロジェクトの実施 HPやSNSを活用した取り組みのPR		のおがたSDGsフェスタinイオンモール直方 方を初開催し、SDGs推進パートナーによるSDGsへの取組み展示やワークショップ、市内小中学生を対象としたSDGsコンクール、物産展等の複合イベントを行った。また昨年度に続いて、パートナーによるマッチングプロジェクトである市内幼稚園での大工体験イベントも開催した。				市内で個別に活動する企業・団体を繋ぐ場として、登録パートナーが集い意見交換を行うことができる場を設ける。また引き続きSNS等で、各パートナーの取組みやマッチング事例等も積極的に発信していく。			